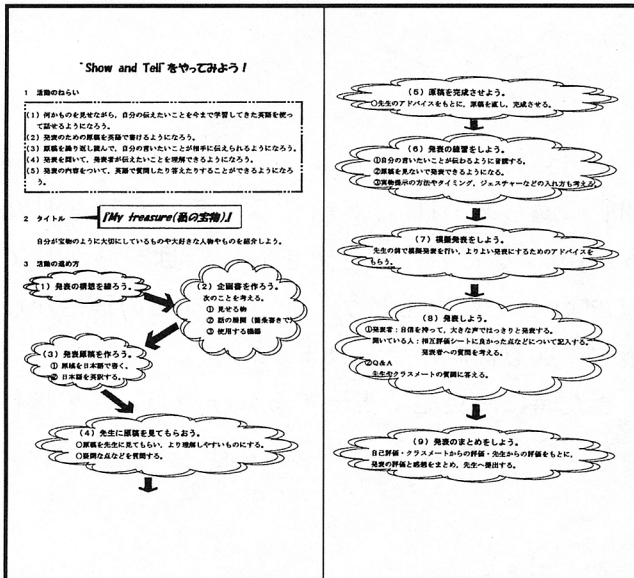


図1のような指導計画を立てました。

### 3 授業の実際

#### 1 オリエンテーション



【図2 オリエンテーションのための学習プリント】

	活動内容	時数等
①	オリエンテーション	1
②	「紹介するもの」を決める。	
③	「紹介するもの」のイメージ化を図る。	
④	発表の構想を練る。	1
⑤	日本語で原稿を作成する。	
⑥	英語で原稿を作成する。	1
⑦	音読練習をする。	個別に放課後や家庭で行う。
⑧	模擬発表をする。	
⑨	発表する。	授業の始め、約10分間をShow and Tell Timeと位置付け、毎回2〜3名ずつ全員が終了するまで継続して行う。それぞれの発表終了後に振り返りを行う。
⑩	発表を振り返る。	

【図1 学習指導計画】

初めに、ALTによる「今回のテーマ」に関するモデルスピーチを聴きました。その後、図2を見ながら、活動のねらい・発表のテーマ・活動の進め方を理解し、活動の見通しを立てました。

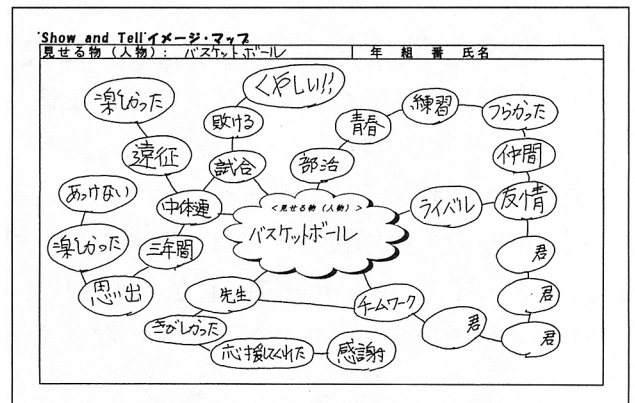
#### 2 「紹介するもの」を決める。

各自が、宝物のように大切にしている物や人物、ペットなどの中から、自由な発想で「紹介するもの」を決めました。

＜実際に生徒が選択した「紹介するもの」＞  
 家族（祖父母、父母、兄弟）、友人、本、CD、部活動で使用したもの（ユニフォーム、ラケット、竹刀など）、ペット（犬や猫など）、バッグ、映画など

#### 3 「紹介するもの」のイメージ化を図る。

図3のように、一語または短い表現で「紹介するもの」に関するイメージマップを作成させました。日本語または英語のどちらを使ってもよいこととしました。このイメージマップを作成することで「紹介するもの」に関するイメージが、さらに明確なものとなりました。



【図3 イメージマップの例】

#### 4 発表の構想を練る。

発表の構想を練るにあたっては、次の2つのことについてまとめました。

##### (1) 話の展開（スピーチの構成）

今回の活動は、3年間の学習を踏まえ、パラグラフを意識したまとまりのある発表内容にさせたいと考えました。そこで、原稿を書く前に、次のページの図4の例をもとに、序論・本論・結論と展開する構成について理解させました。次に、次のページの図5を用いて、自分のスピーチについて考え、序論・本論・結論ごとに発表内容を箇条書きでまとめました。